



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJAPR08/02- No.107

プレスリリース

貧困層への価格高騰の影響を軽減するため緊急措置が必要

FAO 事務局長たちがアグロインダストリーの役割を強調

2008 年 4 月 9 日 ニューデリー

FAO 事務局長ジャック・ディウフは 9 日、食料価格高騰が極度の貧困層に一層憂慮すべき悪影響を与えないように緊急措置が必要と述べた。

UNIDO、IFAD の代表と共にニューデリーにおける第一回世界アグロインダストリーフォーラムで演説したディウフ事務局長は、これらの問題を克服するためにアグロインダストリーが果たすべき重要な役割について強調した。

「世界の食料価格は過去 9 ヶ月に 45% 上昇した。米、小麦およびとうもろこしが深刻な不足に直面している」とディウフ事務局長は述べた。

気候変動による生産減、記録的に低い在庫水準、新興経済国による肉・乳製品の需要増、バイオ燃料生産の需要増およびエネルギーと輸送コストの上昇などの複合的な要因が食料価格高騰の原因となっている。

UNIDO 事務局長カンデ・ユムケラーは「気候変動は増え続ける世界の人口を養うための世界のキャパシティに大きな負荷を与える。この問題は旱魃、水不足そして土地・空気・海の汚染などにより耕作可能地域、家畜飼育および漁業に新たな脅威をもたらす。なぜならば、農業と畜産が人間の存在にとって基本となる原料—特に食料—を提供するからだ」と述べた。

IFAD 総裁レナート・ボーゲは同会議で近年開発途上国の多くが食料の純輸入国になったと述べた。バングラデシュやザンビアでは人口の 40% 近くが栄養不足である。「爆発的で急激な食料価格の上昇がこれらの国々の状況を更に悪化させている」とボーゲは述べた。

「農業と農村開発へのより多くの投資により、世界に 4 億人いる小規模農家 {しょうじさくのう} は十分に利用されていない潜在力を動員できる。自分自身の栄養状態や収入を改善するだけでなく国家の食料安全保障を強化し全体の経済発展に貢献できる。」と IFAD 総裁は述べた。

アグロインダストリーの潜在能力

ディウフ FAO 事務局長によれば「生産性をあげるためには水管理やインフラへの農業投資を増加することが不可欠で、小規模農家にとっての生産資材の確保条件を改善する必要がある。」彼は農産物の効果的なマーケティングと加工システムの重要性を強調した。

さらに「アグロインダストリーは食料を保存することを助け、付加価値を与え、収穫後の損失を軽減する。生産物がより長距離輸送されることも可能にし、急速に増大する都市部への輸送も可能になる」と指摘。
「アグロインダストリーは農産物の需要を創出し、農村における農業以外での雇用の巨大な可能性を秘めている。国内および輸出市場における農産物の重要な付加価値も与える」と述べた。

アグロインダストリーフォーラムは 4 月 8 日から 11 日に開催され、120 カ国から 500 名以上の参加者が集まっている。政府および民間セクター双方の出席があり、NGO や農業団体も参加している。

利益の共有

国連機関の長たちは、小規模農業関連企業はいくつかの国々で困難に直面しているため、アグロインダストリー発展の利益は全世界的には共有されないかもしれない、と警告した。関税、非関税障壁、基準・認証の要件、求められる輸出量などが小規模輸出業者にとって主要な障害となっている。

多くの国での都市化、収入増加、女性の労働市場への参加がインスタント食品の需要をあと押しした。世界的に加工食品と飲料が全食料品売り上げの 80% を占めるようになった。これは 2001 年から 2007 年の間に 57% 上昇した。このような傾向に対応するためもあって、特にラテンアメリカや東南アジアでスーパーマーケットの急激な増加が見られる。

FAO は他の機関や NGO と連携して、小規模農家と買い手のしっかりした結びつきが確保されるように活動している。農家を生産者団体や組合にグループ化、組織化している。

UNIDO のユムケラー事務局長は、農業関連企業が成長し、繁栄することを助け、雇用と富を創出し、持続可能な経済と人間開発を推進するために、国連システムと開発パートナーたちにとっての課題はアグロインダストリーを支援することであると述べた。

ニューデリーのフォーラムはインド政府の協力の下で **FAO**, 国連工業開発機関（**UNIDO**）、国際農業開発基金（**IFAD**）の共催で開催している。

FAO はこのほか、国家の首脳が世界の食料安全保障の緊急課題について話し合う場を提供し、状況に対応するための必要な行動を採択できるように、ハイレベル会合「世界の食料安全保障：気候変動とバイオ燃料の課題」をローマ本部で **2008 年 6 月 3 日から 5 日**に開催する予定である。

連絡先： **Erwin Northoff**
Media Relations, FAO
Erwin.northoff@fao.org
+39.06.570.53105
+39.348.252.3616